

(様式4)
令和7年3月17日

令和6年度 第3回 大阪市立柴島中学校 学校協議会 実施報告書

大阪市立柴島中学校
校長 川崎 俊己

| | | | | | | | |
|------|---|--|--|--|--|--|--|
| 日 時 | 令和7年3月17日(月) 午後6時30分～8時30分 | | | | | | |
| 場 所 | 大阪市立柴島中学校 第1会議室 | | | | | | |
| 出席者 | 委員など 馬場正明(会長) 西本和三(委員) 笹部靖憲(委員) 森岡孝博(委員) 美浦宏至(委員) 和久範枝(委員) 前田紘平(委員) | | | | | | |
| 校園 | 川崎俊己(校長) 山本実知代(教頭) | | | | | | |
| 区役所 | 上野千明(保健福祉課(子育て・教育)担当) | | | | | | |
| 議題 | (1)「運営に関する計画」最終反省 (2)「令和6年度 柴島中学校のあゆみ」より (3)学校アンケートの結果について | | | | | | |
| 協議要旨 | 協議の結果 | 意見の概要 | | | | | |
| | (1)目標および取組み内容の最終評価について、十分な理解を得ることができた。 (2)各調査の結果から、学力、学習状況、体力等の分析した内容を確認することができた。 (3)生徒・保護者の意見や状況を知ることができた。 | <ul style="list-style-type: none">学校の様々な取り組みとその成果を理解した。達成できていないのは、数字の誤差の範囲であると考える。常日頃よりの教職員の熱意に感謝する。一方、教職員の長時間勤務の軽減が簡単ではない。行事、取り組みの精選、スリム化も必要である。不登校生は、学校だけの問題でなく、家庭・関係諸機関との連携、社会的に周りの者が気にしていきたい。学校HPでは、日々の生徒たちの活動や連絡がたくさん掲載してあり、学校の様子がよくわかった。閲覧数が少ないので残念である。生徒や教職員のがんばりをPTAや保護者にもっと見てもらいたい。学校の教員が、アクティブラーニングに取り組んでいるのがよくわかった。英語力の向上は喜ばしいことである。様々な教育活動で教員がやってよかったと思うことは、継続してほしい。 | | | | | |
| 協議資料 | <ul style="list-style-type: none">「令和6年度 運営に関する計画」「令和6年度 柴島中学校のあゆみ」「学校アンケート」結果 | | | | | | |
| 備考 | 傍聴者[2]名 村中裕子 田原眞里 | | | | | | |